

オレンジ家の「黒い貴族」の中での立ち位置

「黒い貴族」にはその源流たる「カナン族」、それに「王家の血流」の二つの系統があるようだと示してきました。これを、現住所は「黒い貴族」にあるが本籍が①カナン族にあるグループと②王家の血流にあるグループの2つに分けてみます。そして「黒い貴族」と一括りになっているけど、ブラック・ロッジ「表のイルミナティ組織」に所属する「黒い貴族」とホワイト・ロッジ「裏のイルミナティ組織」に所属する「黒い貴族」があることを見てきました。

英国を攻撃した「黒い貴族」の中心にあったのはオレンジ家と見るのが自然です。こういった点からオレンジ家が「黒い貴族」の中にあっても主要メンバーの一角にあったのは間違いないでしょう。

	①本籍がカナン族	②本籍が王家の血流
ブラック・ロッジ (表のイルミナティ)		
ホワイト・ロッジ (裏のイルミナティ)		オレンジ家

さて、英国王に就いたオレンジ家のウィリアム3世ですが、オレンジ家は本籍が②王家の血流にあるグループに属し、私の感覚ではウィリアム3世は彼が英国王に就いた時点では「裏のイルミナティ」に所属しているはずですが、ところが、ウィリアム3世と行動を共にした自称ユダヤ人たちアムステルダム金融勢力は、その所属が違うはずなのです。クロムウェルを買収したマナセ・ベン・イズラエル、マールバラ公爵を買収したメディナ家（その代表者がおそらくソロモン・デ・メディナ）およびマンシャド家などの面々、1690年時点で彼らは全て本籍が①カナン族で且つ「表のイルミナティ組織」に所属するグループだと感じます。

本来の源流で「黒い貴族」の本流はカナン族であり「表のイルミナティ組織」に所属するグループであったはずなのです。その最高位ファミリー群が「ゾロアスター13血流」でしょう。この意味では本流から外れているオレンジ家が「黒い貴族」の中でどういう位置にあったのか？「ゾロアスター13血流」のトップであるオルシーニ家などとの力関係がどうであったのか？これらは不明です。

長い年月の間にもかなりの変化はあったはずではありますが。ともあれ2000年時点ではオレンジ家が「裏のイルミナティ」地上組織の最高位にありました。

また、前に見たようにサヴォイ家のように元来はカナン族で「表のイルミナティ」に所属していたはずが、どこかの時点で「裏のイルミナティ」に転じたファミリーたちもいます。多分その代表格が「ゴルフ家」つまり現在の英王室です。「300人委員会の長」の出身ファミリーがそうだと思うのです。